施工説明書

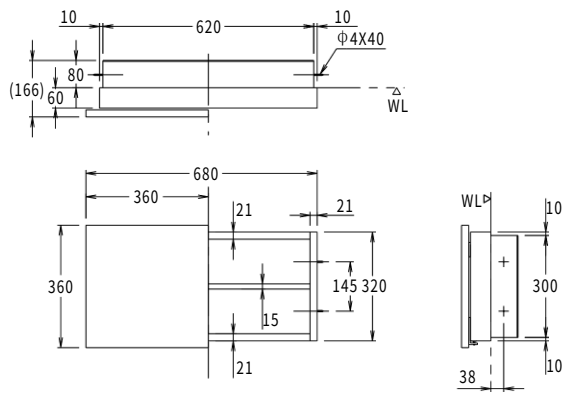
INAX

スライド扉付埋込収納棚　TSF-202
スライド扉付埋込収納棚（タオル掛付）　TSF-202T
スライド鏡扉付埋込収納棚　TSF-222
スライド鏡扉付埋込収納棚（タオル掛付）　TSF-222T

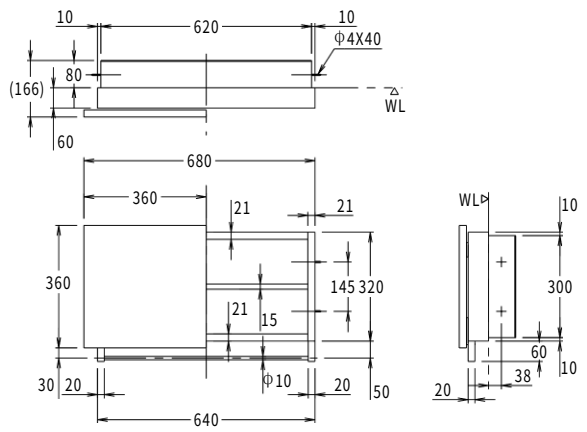
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●商品図

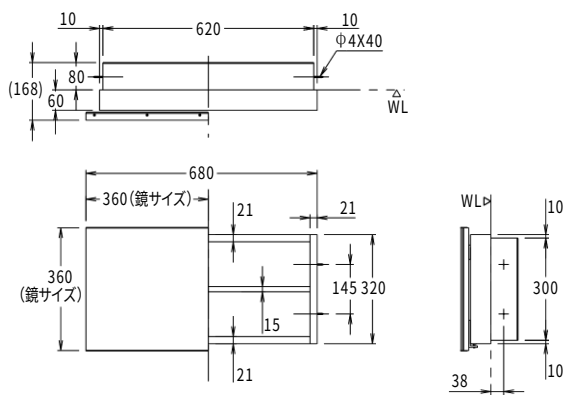
TSF-202



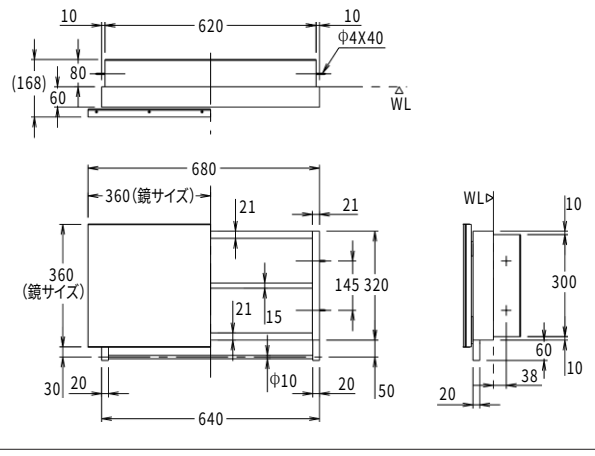
TSF-202T



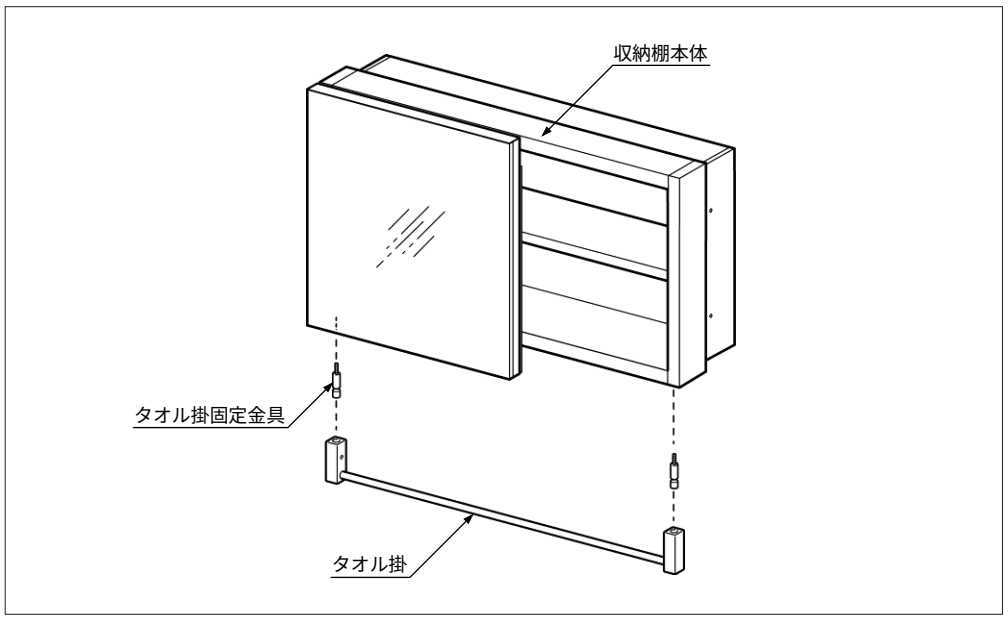
TSF-222



TSF-222T



●各部の名称



●同梱部品

部　品　名	数　量
皿ネジ（Φ4×40）	4本
化粧シール	4個

〈TSF-202T, TSF-222Tの場合のみ〉

部　品　名	数　量
タオル掛けセット(六角レンチ付)	1個

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまに保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

注意……「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

🚫……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

🚫……「分解してはいけません！」

❗……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠注　意

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 ※破損しケガをする恐れがあります。	🚫
本体やタオル掛の取付けが緩んだ状態でのご使用はしないでください。施工完了後は各部にガタつきのないことを確認してください。 ※物品等の落下、部材落下によりケガをする恐れがあります。	🚫
直射日光が当たる場合はカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。 ※変色や変形の恐れがあります。	🚫
酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール等の溶剤や油類を使用して拭かないでください。 ※変形や変色の恐れがあります。溶剤がつきますと跡が残ることがあります。	🚫
必ず施工説明書の指示に従って施工してください。 ※誤った施工方法でされた場合、破損やケガの恐れがあります。	❗
木製品のため、浴室および湿気の多い場所の設置は避けてください。	🚫

株式会社 INAX

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター　商品相談窓口
ナビダイヤル **TEL 0570-017173**

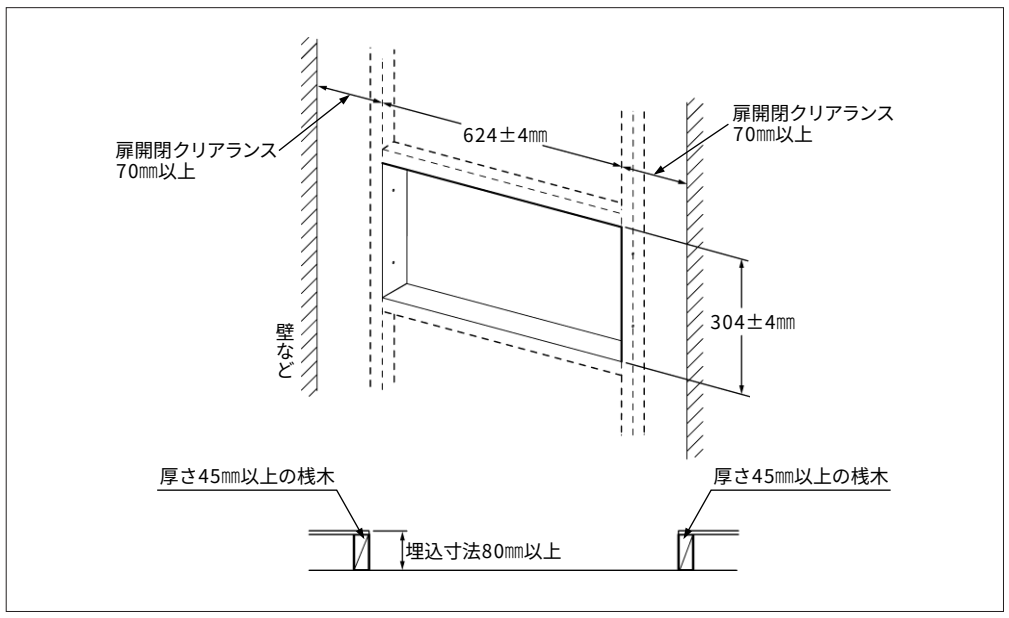
受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日10:00～18:00
（年末年始、夏期休暇は除く）

※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などでご利用になれない場合があります。
TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

●施工前の確認

●壁埋込タイプの商品です。壁の開口部及び開口部周辺が下図の寸法であることを確認してください。

●商品取付けのためのネジ固定用として、厚さ45㎜以上の縦・横桟木が必要です。

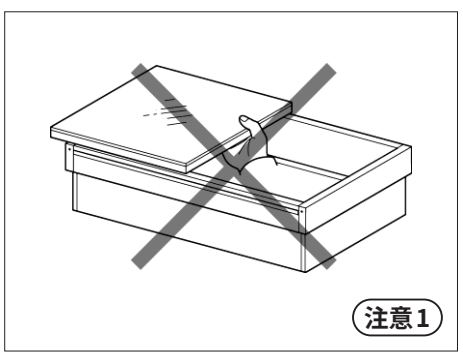


●施工方法

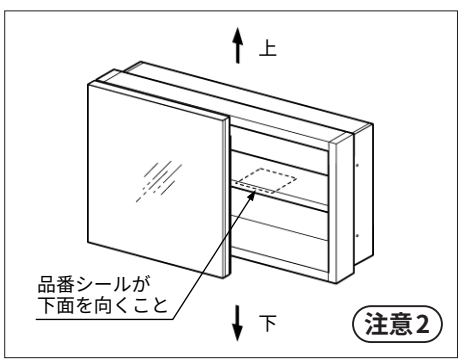
1. 収納棚の取付け

⑴収納棚本体を箱から取り出し、天地の向きを確認します。

注意1 収納棚本体を取り出す時、扉を直接もって持ち上げないでください。扉が動いて指をつめたり、スライド金物の変形等不具合につながる恐れがあります。

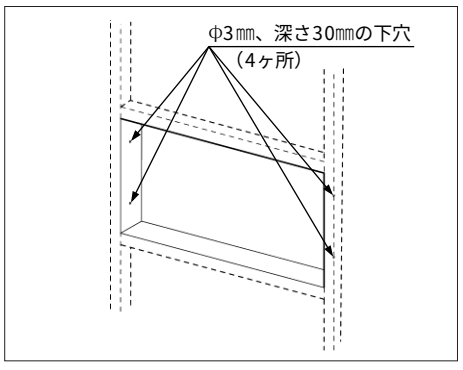


注意2 扉は上吊り式です。天地を間違えて取り付けると、施工後扉がスムーズに動かなくなります。



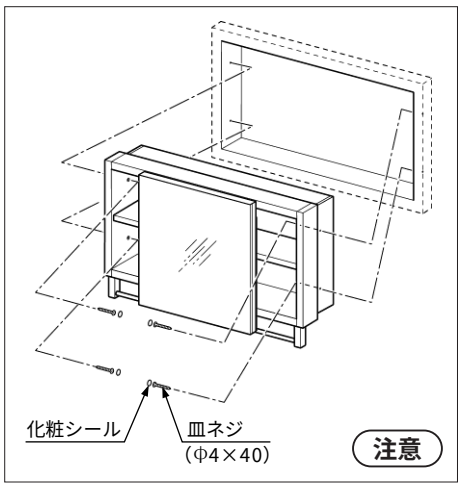
⑵本体をいったん壁開口部にはめこみ、開口の上下左右のスキマが確実に塞がっていることを確認した後、施工ビス位置をケガいて下穴をあけます。

※下穴は必ずあけてください。ネジ固定時にネジ頭をなめる原因になります。



⑶締付け具合を加減しながら付属のネジで固定します。

注意 ネジは強く締め付けないでください。
本体にネジが陥没してガタツキの原因になったり、本体が変形して、扉が動きにくくなる原因になります。

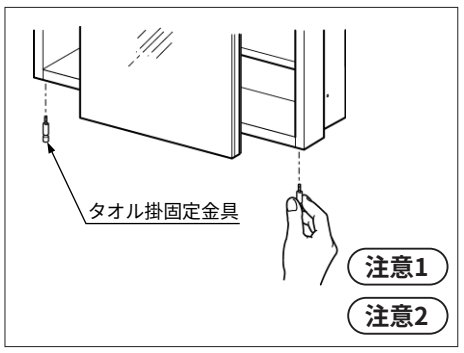


⑷付属の化粧シールのはくり紙をはがして、ネジ頭を塞ぎます。

2. タオル掛の取付け〔TSF-202T, TSF-222Tの場合のみ〕

⑴タオル掛固定金具を収納棚本体のナット部に手締めでしっかりネジ込みます。

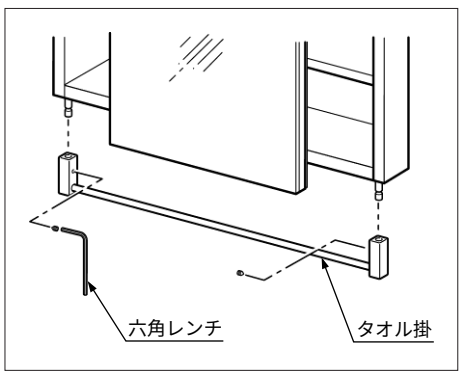
注意1 固定金具のすり割り部は、何らかの理由で固定金具を外す必要が生じた場合や手締めで最後までしっかりネジ込むことができない場合に使用してください。



注意2 金具を締め込みすぎないでください。空転をおこしガタツキの原因になります。また、工具で強くネジ込みすぎると、固定金具が破損する恐れがあります。

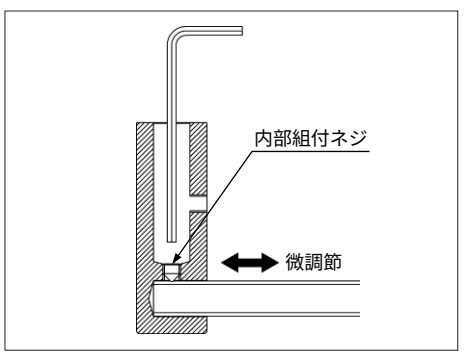
⑵ブラケットを固定金具に差し込み、同梱の六角レンチを使って小ネジを締め込み、固定します。

※小ネジについている橙色の緩み防止剤は、最後にはみ出た部分をきれいに拭き取ってください。

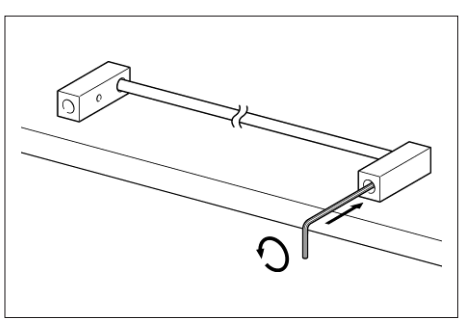


施工のポイント

●固定金具の位置に対して、タオルバーが長い(または短い)場合は、ブラケットの内部組付ネジを緩めて微調節することが可能です。



●長さ調節後再組付を行う時は、平らな作業台等の場所にて、左右のブラケットがねじれなく平行になっていることを確認しながら、内部組付ネジを締め込んでください。



●施工後の確認

●収納棚本体にガタツキがなく、扉がスムーズに動くことを確認してください。

●タオル掛にガタツキがないことを確認してください。